

2023年8月20日（聖霊降臨後第13主日、特定16、A年）

牧師メッセージ

「人間ではなく、天の父によって」

（マタイによる福音書16:13-20）

司祭ヨセフ太田信三

当時の人々は古い預言者の名を挙げて、主イエスを理解しようとしていました。なぜなら、自分の「知っている」範囲内、「枠」の中でしか人は物事を理解できないからです。ではなぜペトロはその「枠」を超えて信仰告白できたのでしょうか。それは、「あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。」と主イエスが言われている通りです。神がペトロの目を開いたからこそ、ペトロは生ける神の子と真に出会うことができたのです。そのペトロだからこそ、主イエスは天の国の鍵を授けました。それは、この世界のなかで目を開かれた者として、地上と天井を繋ぐ役目を担うことです。同じ世界を見ていても、神が見えている人とそうでない人がいます。まるでパラレルワールドのようですが、この世に生きながら神の子を見る目が開かれ、神の国が開かれる。その鍵をペトロは預かりました。そして、それこそが教会の役割です。ペトロは岩という意味です。その岩の上に主イエスは教会を建て、陰府の力もこれに対抗できない、と言われました。なぜならペトロの目は天の父が開いたのであり、その上に建てられる教会には、神が常に伴われるからです。教会とはこの世界にしながら、神によって目開かれたものとして、愛の神を目の当たりにして生きる人々の集まりなのです。しかしそれはわたしたちが努力して獲得するものではなく、神から恵みとして与えられているものなのです。

「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ」という主イエスの祝福は、わたしたちにも向けられています。あなたには神の一方的な恵みが注がれている。あなたは幸いだ、と主イエスは教会にわたしたちを招き、わたしたちの命を祝福し、この世界に派遣します。わたしたち一人ひとりを通して働く神によって、人々の目が開かれ、天の国へと繋がれるためにです。

今日の福音で立派な信仰告白をしたペトロですが、来週の福音では、主イエスの受難予告を聞き、主イエスを脇へと連れ出しいさめます。これにより、ペトロは「サタン、引き下がれ。あなたわたしの邪魔をする者。神のことを思わず、人間のことを思っている。」と言って叱られます。主イエスによって祝福を受け、鍵を預けられたペトロですら、主イエスよりも人間の思いに囚われてしまうのです。今日の福音の最後で、主イエスはご自分がメシアであることを口止めされます。なぜならそれは、ユダヤ人たちが抱いていた力強い解放者としてのメシア像との誤解を避けるためでした。真のメシア、主イエスは十字架上で死に、復活する神の子です。しかし、人間的な思いではそれはわからないのです。主イエスは、人がいかに「枠」から出られないかをよくよくご存知であるからこそ、口止めをされたのです。それほどに、人間は自らの思いや考えから出られません。だからこそ、「あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。」ということを忘れずにいたいと思います。